



高有機土壌活力肥料

九州版

コロボクル

■コロボクルとは

土壤の団粒化を促進し、長期的に保水性・養分性を改善する土壤改良資材です。



未熟な「土」の改良に

岩石が碎けてできた「土」は、有機物や微生物を加えて植物の生育に適した「土壤」にする必要があります。生きた微生物を多く含み、熟成度の高いコロボクルは二次発酵による土壤の還元化(酸欠)の心配もありません。

※ 通気・透水性の改良および微生物の住処を提供するため、【エコ炭】との併用が効果的です。

火山灰土の改良に

火山灰由来の土はリン酸を吸着しやすいので、リン酸を補給する改良が必要となります。リン酸を多く含むコロボクルの採用をおすすめします。

※ 土の状況によってはコロボクルのみでは補えない場合もあるので、その都度検討が必要です。

花・実付きの改善に

コロボクルはリン酸を多く含むので、実・花つきを良くしたいときに最適です。

※ 通気・透水性の改良および微生物の住処を提供するため【エコ炭】との併用が効果的です。



有用微生物コロボクル菌の働きで、土壤の団粒化を促進し、保水性・養分性が良好な永続型の植栽基盤を形成します。

無機質土壤改良資材【エコ炭】や【A・Gロック】との併用でより効果を発揮します。

重量	容量
20kg	約40リットル

～『コロボクル』名前の由来～

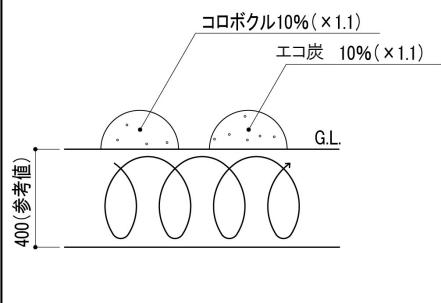
民話の中でフキの葉の下などに息づく、土の精【コロボクル】によく出会います。自然の中では有用な生物(微生物)が無数に生活していて、このコロボクルたちと同じ働きをしています。そこからヒントを得て、この商品の名前を選びました。

■使用方法

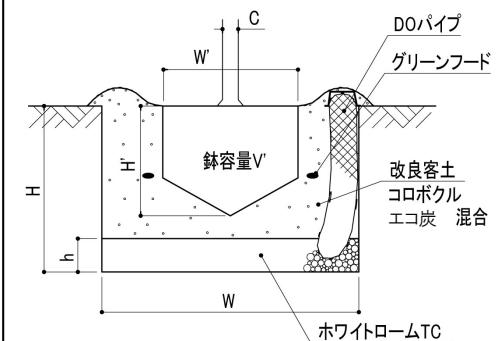
コロボクルは、無機質土壌改良資材との併用をおすすめします。

【エコ炭】は無機質・軽量の通気・透水性改良材です。

全面改良の場合



植穴改良の場合



目通幹周 (樹高)	鉢径 (cm)	鉢高 (cm)	W (cm)	H (cm)	V (m³)	V (m³)	排水層h		客土量※2 (鉢容量×3)	客土材内訳(8:1:1)			残土量 ※5 (m³)	緩効性肥料※4 グリーンフード (14:8:6:5)15.5g/粒 (g)	DOパイプ φ150 本数	DO キャップ 長さ (m)			
							鉢穴深さ ※1 (cm)	鉢容量 ※1 (m³)		ホワイトローム TC厚み※6 (cm)	ホワイトローム TC必要量 V-鉢容量 (リットル)	現地発生土 80% (x1.1)	エコ炭 10% (x1.1)	コロボクル 10% (x1.1)					
高木	10未満	33	25	69	45	0.017	0.120	8	30	0.073	0.064	8	8	0.068	180	12	2	0.6	2
	10以上 15未満	38	28	75	48	0.028	0.175	8	35	0.112	0.099	12	12	0.094	180	12	2	0.6	2
	15以上 20未満	47	33	87	56	0.061	0.329	10	59	0.209	0.184	23	23	0.178	231	15	2	0.6	2
	20以上 25未満	57	39	99	63	0.110	0.517	10	77	0.330	0.290	36	36	0.278	283	18	2	1.0	2
	25以上 30未満	66	45	111	69	0.170	0.747	10	97	0.480	0.422	53	53	0.399	283	18	2	1.0	2
	30以上 35未満	71	48	117	77	0.210	0.921	15	161	0.550	0.484	61	61	0.529	386	25	2	1.0	2
	35以上 45未満	90	59	141	90	0.400	1.574	15	234	0.940	0.827	103	103	0.904	449	29	3	1.0	3
	45以上 60未満	113	74	171	105	0.740	2.624	15	344	1.540	1.355	169	169	1.532	514	33	3	1.5	3
低木 (樹高)	60以上 75未満	141	91	207	129	1.320	4.373	20	673	2.380	2.094	262	262	2.716	1,029	66	4	1.5	4
	75以上 90未満	170	108	243	153	2.080	6.609	25	1,159	3.370	2.966	371	371	4.304	1,029	66	5	1.5	5
	30未満	15	8	29	28	0.001	0.018	5	3	0.014	0.012	2	2	0.008	90	6	—	—	—
	30以上 50未満	17	10	33	31	0.002	0.026	5	4	0.020	0.018	2	2	0.011	90	6	—	—	—
	50以上 80未満	20	12	37	33	0.004	0.035	5	5	0.026	0.023	3	3	0.016	116	7	—	—	—
	80以上 100未満	22	13	41	36	0.005	0.047	5	7	0.035	0.031	4	4	0.020	116	7	—	—	—
	100以上 150未満	26	16	46	43	0.008	0.070	8	13	0.049	0.043	5	5	0.034	154	10	2	0.6	2
	150以上 200未満	30	19	54	48	0.013	0.108	8	18	0.077	0.068	8	8	0.051	154	10	2	0.6	2
高木	200以上 250未満	35	23	61	56	0.022	0.162	10	29	0.111	0.098	12	12	0.081	231	15	2	0.6	2
	250以上 300未満	40	26	69	61	0.032	0.225	10	37	0.156	0.137	17	17	0.111	231	15	2	0.6	2

※1・植穴深さは排水層の厚みを含んでいる。

※4・緩効性肥料の量は(財)日本緑化センター作成の植栽基盤技術マニュアル(案)を基に算出した。

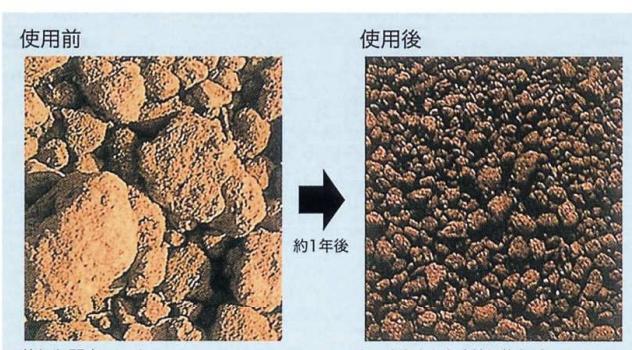
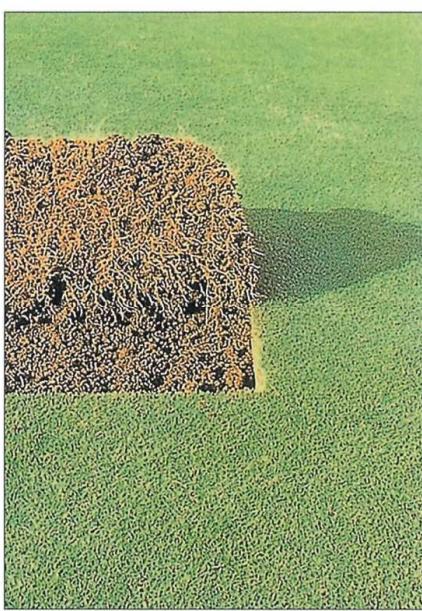
※2・客土量の歩留まりを考慮し1.1倍とする。

※5・残土量=改良材+(鉢容量×1.1)+(ホワイトロームTC×1.1)

※3・国土交通省基準に準拠している。

※6・排水層のホワイトロームTCを海水等のしみ上がり防止のための分断層として用いる場合は、厚み10cm以上必要となる。

■施用例



ヒメコウライシバ Zoisia matrella

この芝は夏芝で、冬場は枯れこみます。それが12月10日だというのに、こんなに青青としています。元は荒れた関東ローム層の茶畠、薄茶色やせた土です。この自然土に【コロボクル】を10kg/m²・10cm厚にすきこみましたら約一年でこの茶色の土が、団粒構造の多いほっかりとした土へと変りました。（新規ゴルフ場芝試験場での例）